

- 論点1 築造年数からの経過年数が一定程度を経過すると、性能低下度の傾向に変化が生じたことを踏まえ、築造からの経過年数に応じて頻度を変えることも考えられるか。また、構造形式による差異を踏まえた設定とすることの妥当性について。
- 論点2 性能低下度の遷移を見ると、初回点検後5年以内では大多数の施設は性能低下度の変化は見られない一方で、1年後の点検でも性能低下度の進行が見られた施設も存在する。人員不足などの課題を抱える中で、点検頻度のあり方をどのように考えていくべきか。
- 論点3 係留施設について、-7.5m以深の施設で検討をしているが、対象を全施設に拡大する必要があるか。また、今後他の施設に展開するにあたってこのようなアプローチの妥当性はどうか。
- 論点4 現状で確認できる新技術では既存の点検のあり方を見直せるものが見いだせなかったが、今後の技術革新を見据えて現在の基準やガイドラインなどの記載のあり方はどのようにあるべきか。